

世界を森にするプロジェクト

食べられる森づくり

In しゃくちはら

みんなで農業組合を始める
LLP 社口原農業組合

自己紹介



臼井 健二 朋子

通称 kenji-i ともちゃん



<場作り>

- * 舎爐夢ヒュッテ(安曇野)に始まり
 - * ゲストハウス シャンティクティ(池田町)
 - * ダラムサラ 輝く大地プロジェクト(インド)
- 持続可能な生き方を体験する場作りを40年以上実践し、全国に根強い支持を持つ。

<著書>

- 「パーマカルチャー事始め」創森社
- 「パーマカルチャーしよう」自然食通信社版
- 「くっきりと安曇野の光の中で」
- 「安曇野の大地から」PEACE出版

取り組んだプロジェクト

舎爐夢ヒュッテ

安曇野にある野菜料理を楽しんでもらう
穀類菜食の小さな宿です。

自給自足のエコロジーな農的田舎暮らしをモットーに
畑は3反 有機農法 自然農畑 パーマカルチャー
ガーデン。

オーガニックレストラン&カフェ、自然食品店、フェア
トレードのエコロジー雑貨の店を併設。シャロム
コミュニティとして 全てがが共生できる新たな共同
体で稼働率は長野県1-2でした



取り組んだプロジェクト

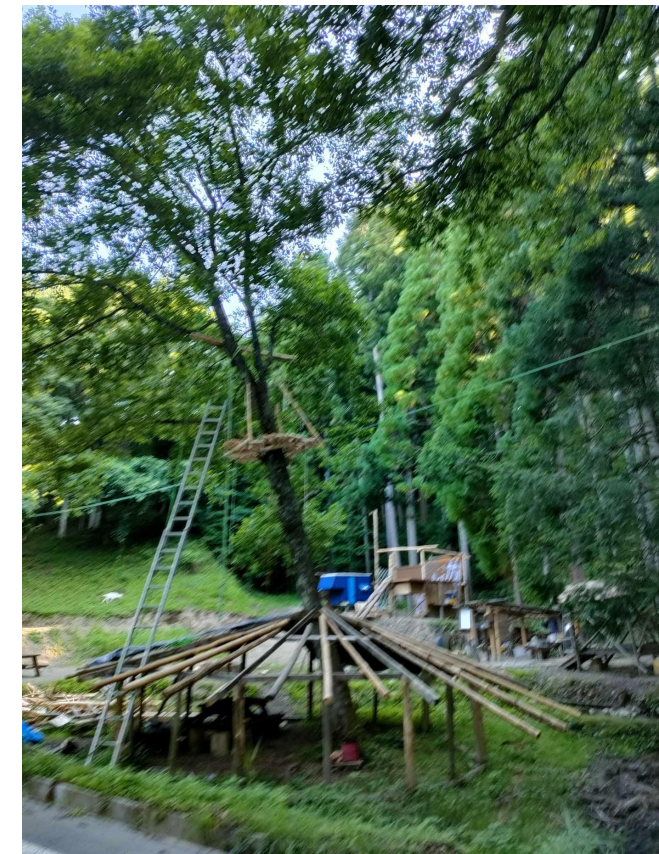
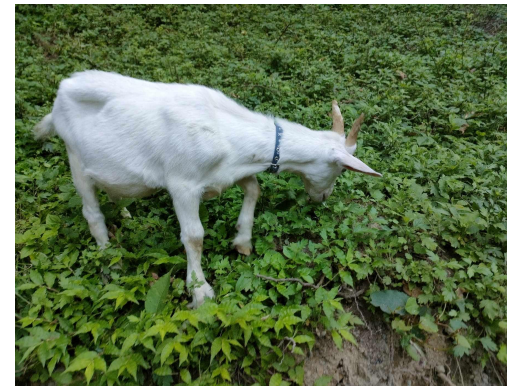
ゲストハウス シャンティクティ

北アルプスの眺めと田園風景の美しい安曇野池田町山麓の森の中にあります

静かな森の中でシンプルな豊かさを味わって戴き、ネパール語「平和の家」という意味です

食事はアジアの菜食家庭料理

持続可能な自然農やパーマカルチャーの要素を取り入れて進め、地球一つで暮らすコミュニティのビジョンです



取り組んだプロジェクト

ダラムサラ 輝く大地プロジェクト

ダラムサラ(インド北部の避難暑地)に世界を森にするパーマカルチャーエコビレッジを作っています

持続可能・多様性・調和をモットーに、みんなが幸せに生きられる世界の実現です



“しゃくちはら”は

場所:長野県北安曇郡池田町社口原

広さ:5.6ヘクタール(東京ドーム1.2個分)の農地



池田町は、オーガニック
タウン宣言をしている
ハーブの町



“しゃくちはら”は

現状:

池田町ファームにて、蕎麦・山菜などの
栽培を試みた



課題:

土壤に石が多く、やせていて
耕作が難しい状態に陥っており

営が危ぶまれ獣害も多い**土壤改良も必要**





しゃくちはらを

世界を森にするプロジェクト 食べられる森づくり

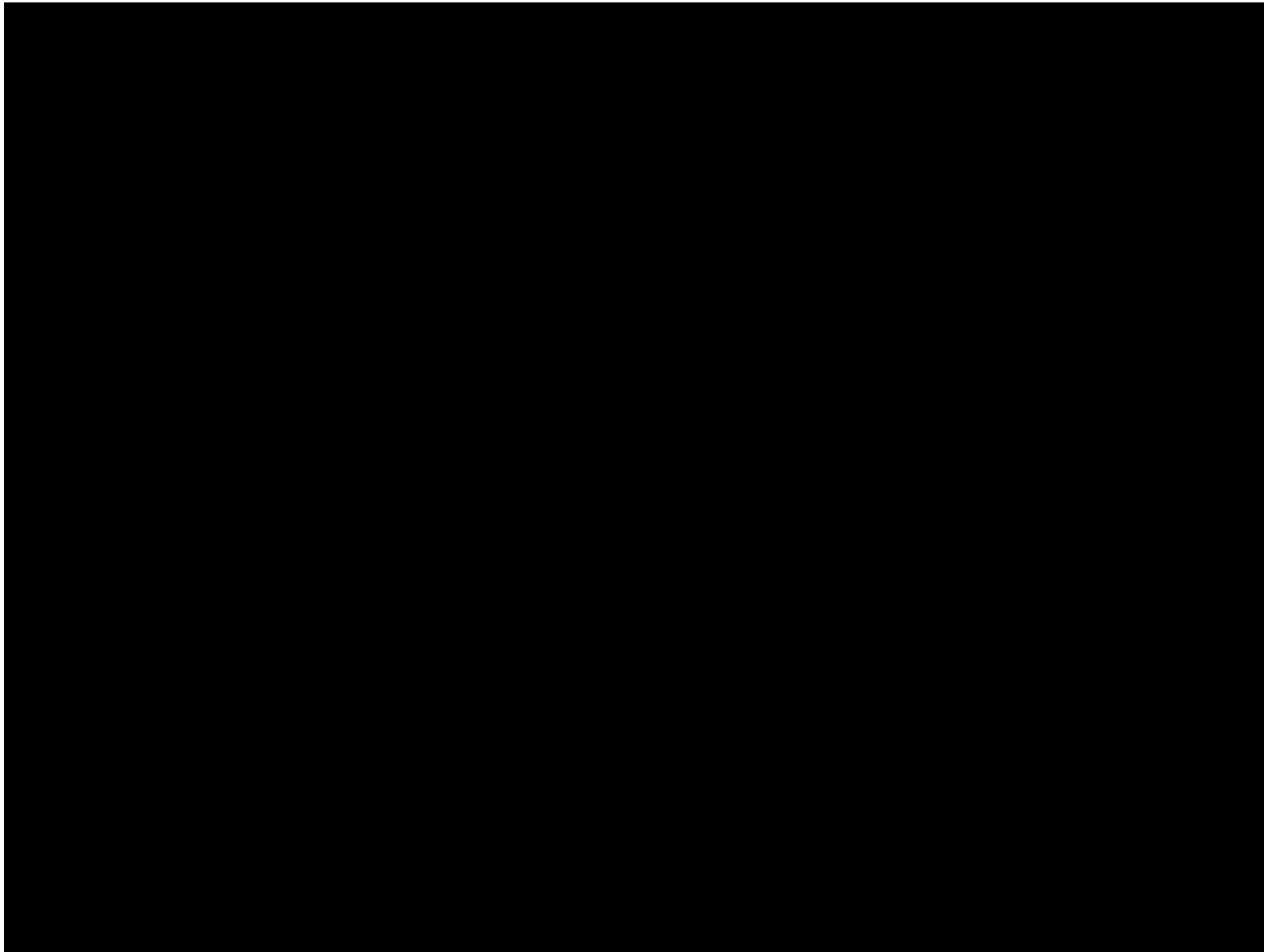
環境再生型農業とは？

ここで土壌改良の鍵になるのが、

有機 環境再生型農業




(リジェネラティブ・オーガニック)

課題の解決策



youtube:
大嶋賢洋の図解チャンネル

環境再生型農業とは？

	慣行農業	有機農業	環境再生型農業
特徴	・効率的、安定的大量生産できるが環境負荷が高い農法	・環境への負荷をできる限り減らした農法	・農地の土壌を修復・改善しながら自然環境の回復に繋げることを目指す農法
農薬 肥料 除草剤	 使う	 使わない (有機肥料は使うことあり)	 使わない (有機肥料は使うことあり)
土を耕す	 耕す	 耕す	 耕さない
問題	・土壌汚染や大量のプラスチック廃棄物が出る ・土壌のCO2を大気中に放出することで温暖化につながる	・堆肥の利用で土壌にCO2を吸収	なし (むしろ土壌にCO2を吸収)

環境負荷 大

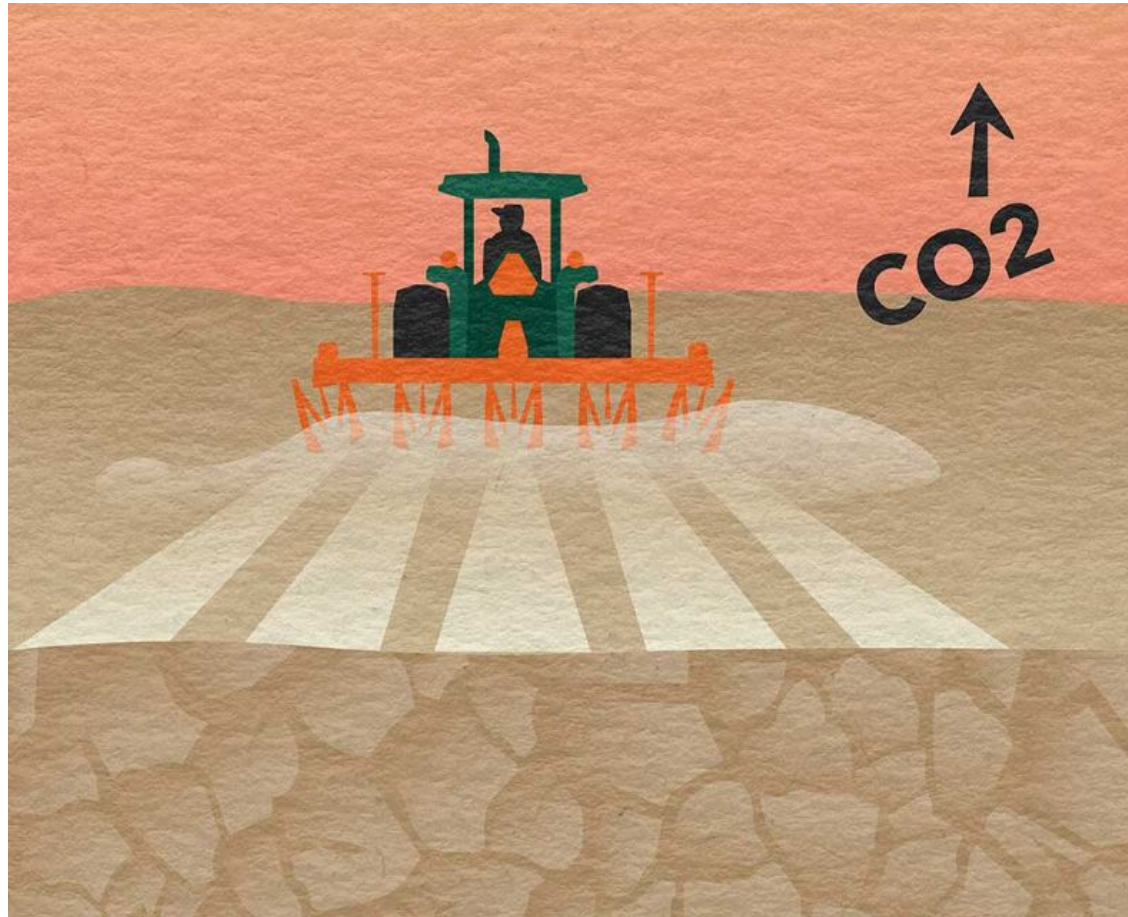
環境改善

環境改善

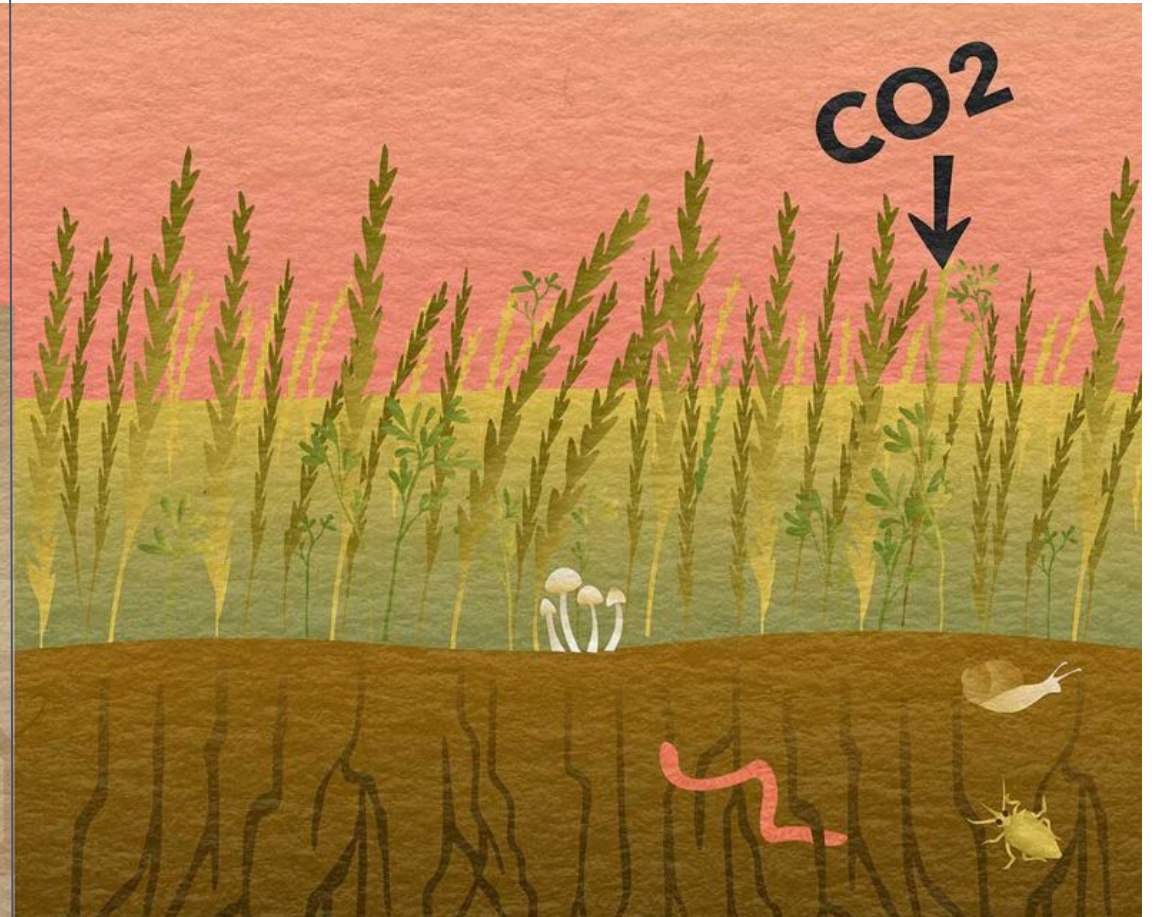
環境再生型農業とは？

“耕す農業”と“耕さない農業”の違い

耕す農業
(慣行農業 & 有機農業)



耕さない農業
(環境再生型農業)



「しゃくちはら」プロジェクト

有機 環境再生型農業を軸にして、

「自然とともに生きるを味わう場」



作りをしていきます

「しゃくちはら」プロジェクト

- ① **環境の再生**につながる
- ② **自然の循環の仕組み**を知ることができる
- ③ 自然とともに生きる**食の体験**ができる
- ④ **防災基地**になる
- ⑤ **町の多様な問題解決**となり**町おこし**に繋がる
子供の居場所作り ゴミ問題 低迷している施設の連携 雇用問題

「しゃくちはら」プロジェクト

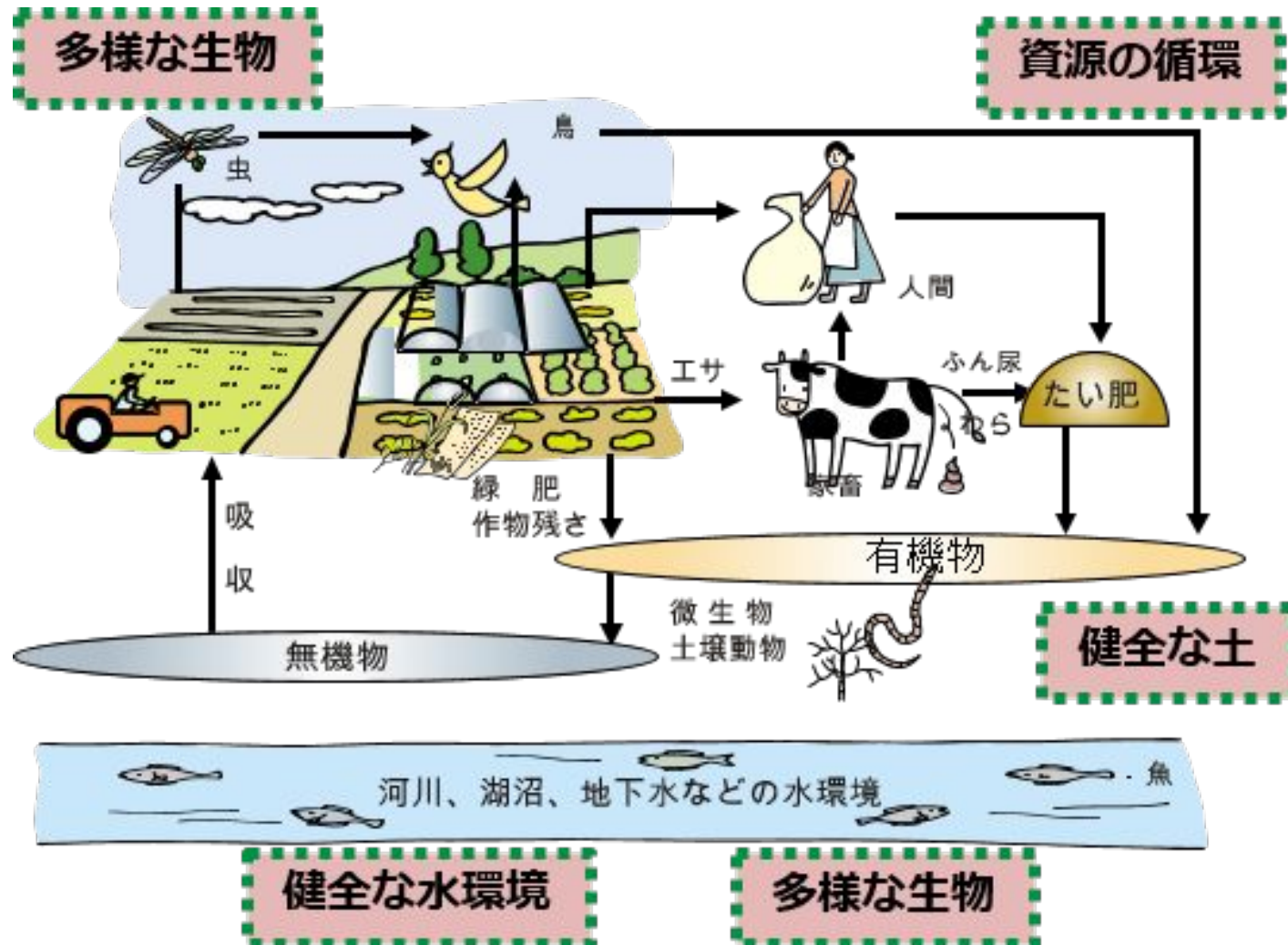
すべての畑は、**有機 環境再生型農業**で行うことにより、
土壌改良につなげ

世界を森にモデルにする



「しゃくちはら」プロジェクト

自然の循環の仕組みを知ることができる ゴミ問題の解決



「しゃくちはら」プロジェクト

自然とともに生きる**食の体験**ができる



「しゃくちはら」ではこんなことができる



食べられる森で野菜の収穫、マルシェの開催など

「しゃくちはら」ではこんなことできる 防災基地になる

エネルギー—飲み水電気の自給
コンポストトイレ
キッチンカー



「しゃくちはら」ではこんなことができる



体のワーク、かまどの食事会などの分かち合いの場 多様な学び

「しゃくちはら」ではこんなことができる



パーマカルチャー 有機 再生循環型農業を学ぶ講座の開催

「しゃくちはら」ではこんなことができる



地元料理の移動式販売



「しゃくちはら」ではこんなことができる



フリースクール、子供の遊び場

「しゃくちはら」プロジェクト

イメージ動画

ビックリトルファームより

予備水源
(流の沢)

(1/2)



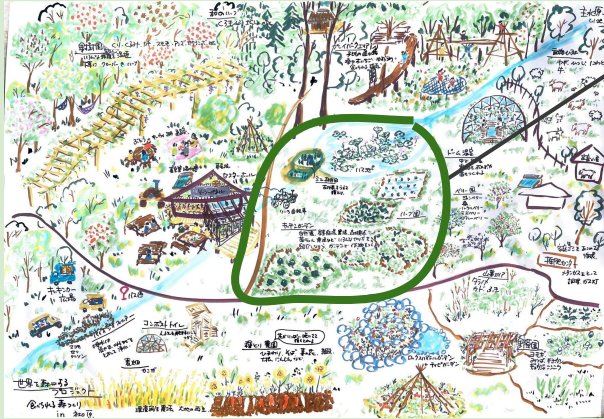
「しゃくちはら」プロジェクト

イメージ図



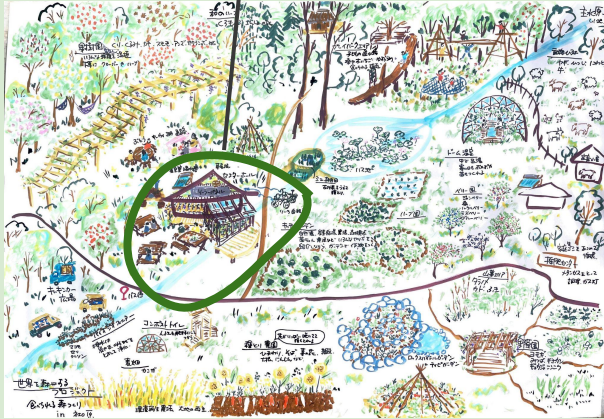
「しゃくちはら」プロジェクト

蓮池&キッチンガーデン&ハーブ園



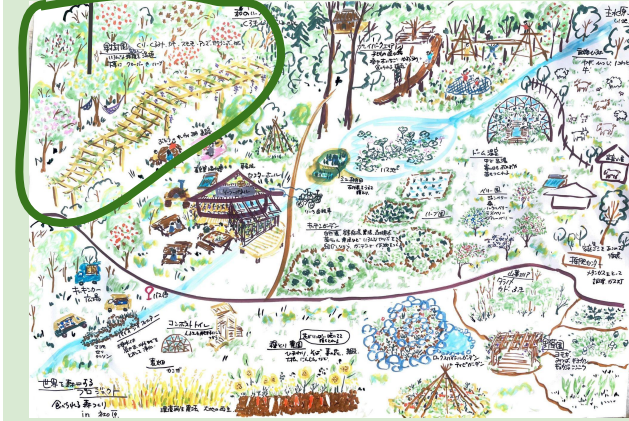
「しゃくちはら」プロジェクト

センターホール&廃天ぷらトラクター馬車で送迎



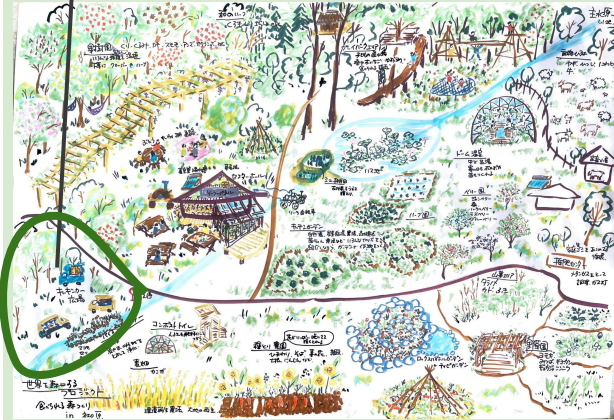
「しゃくちはら」プロジェクト

果樹園



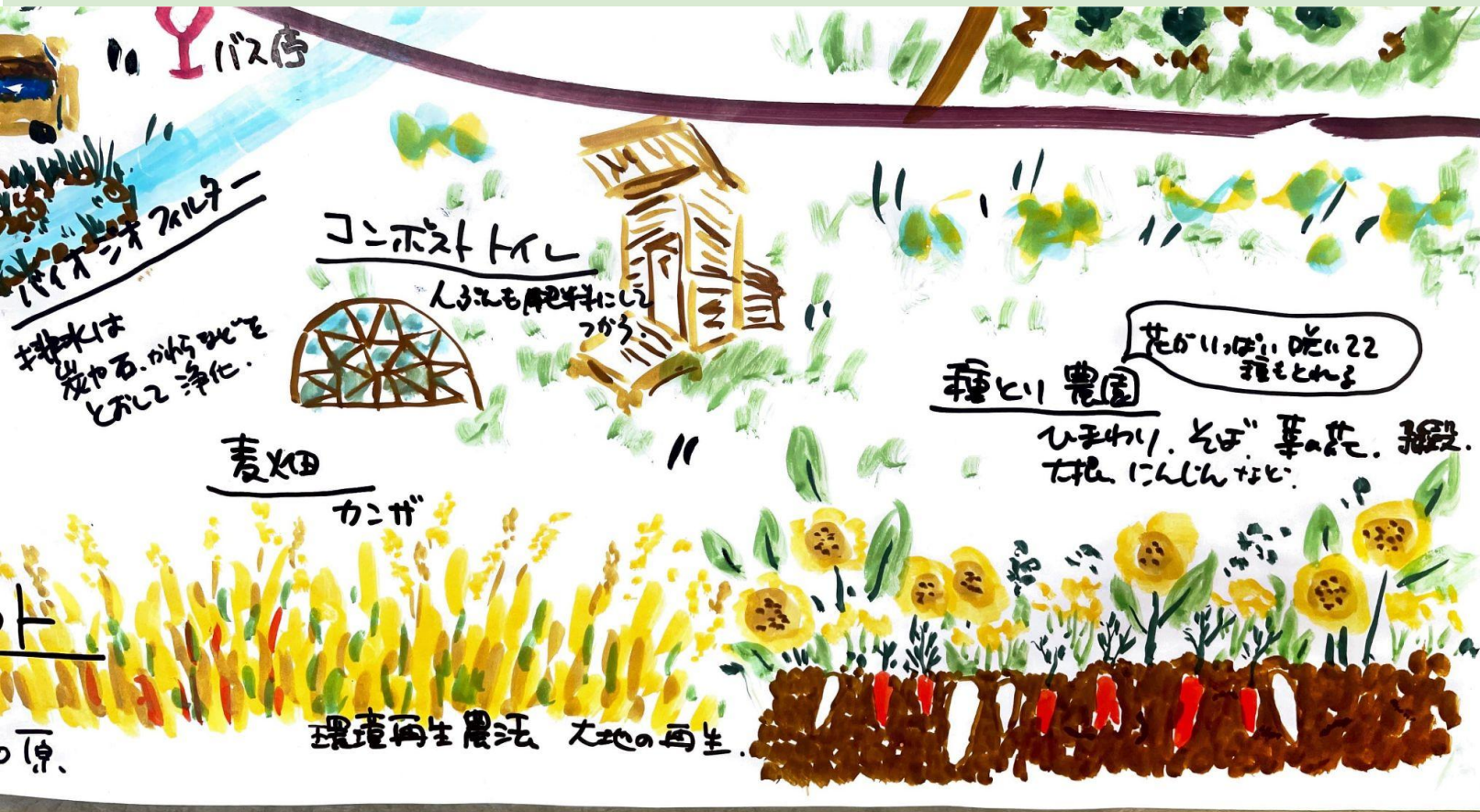
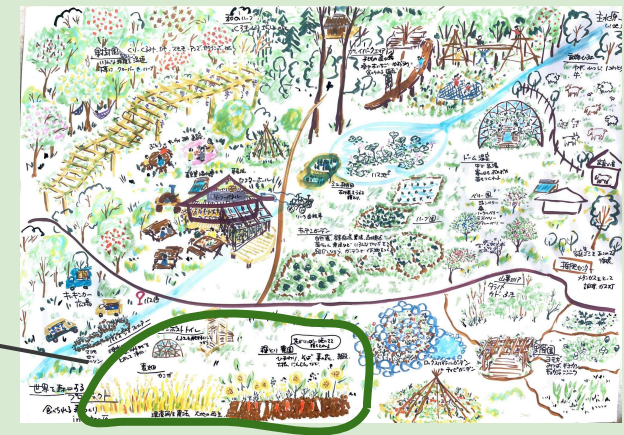
「しゃくちはら」プロジェクト

キッチンカー & バイオジオフィルター



「しゃくちはら」プロジェクト

麦畑 & 種とり農園 & コンポストトイレ



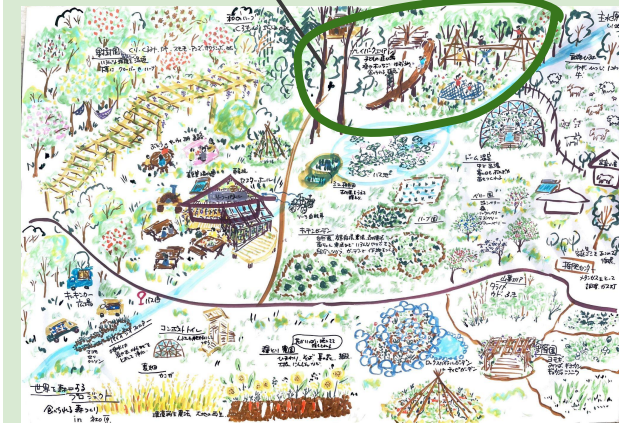
「しゃくちはら」プロジェクト

野草園 & ティピガーデン
& ロックスパイラルガーデン



「しゃくちはら」プロジェクト

プレイパーク



さらなるイメージ

しゃくちはらの杜



持続可能な生活の在り方を示す図書を集めたサステナブルオーガニック図書館として活用

大人の学び場
(研修会場)として
活用

池田町創造館



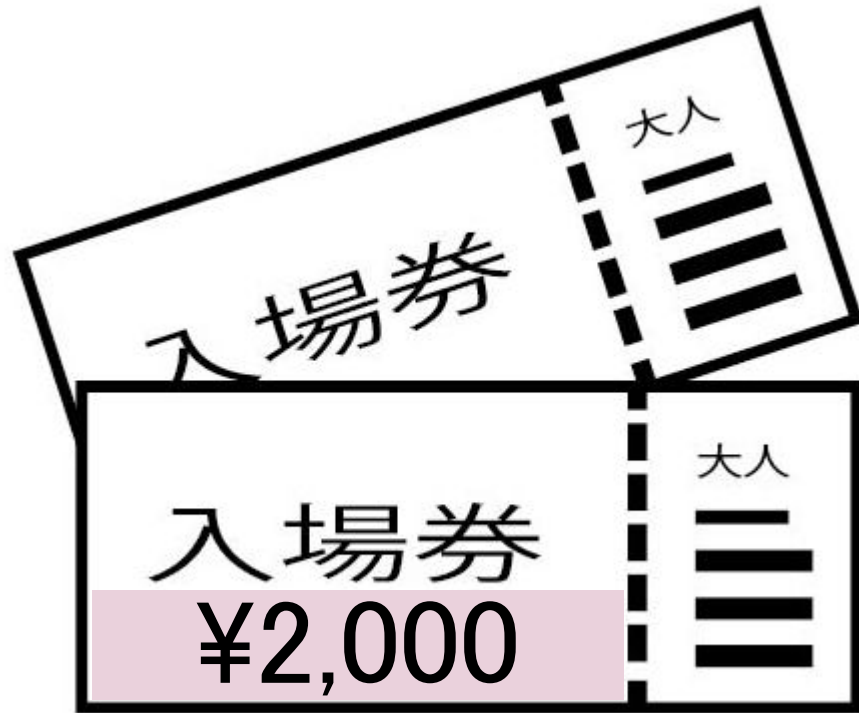
北アルプス展望美術館



1km程度

活かさきれていない場所を活用し、
自然とともに生きる暮らしを学べるエリアとして再設計

さらなるイメージ



入園料の半額を地域クーポンに回すことで、
地域の商業施設利用を促す

将来的なビジョン

池田町を、循環型の環境再生の町として、
自然とともに生きる暮らしができるモデルタウンへ

「しゃぐちはらの杜」
で生き方プチ体験



池田町に
滞在しながらお試し移住体験



「しゃぐちはらの杜」で
環境再生型農業を
ともにチャレンジ

池田町に
移住へ

自然とともに生きる暮らしをしたい移住者が増えていき、
地域興しにつながる

本プロジェクトの進め方

1～3年目

準備期間

- ・有機 環境再生型農業やパーマカルチャーなどの研修講座の一貫として、実際に畑作りをしたり、建築をしながら多くの人に関わってもらいながら、みんなで創り上げていく場にする。



4年目～

本格始動

- ・町外のゲストを招き入れ、本格始動を始める。
年間体験者数3万名を目指す。



本プロジェクトの事業採算性

資本金(検討案)

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
交付金 (農林水産省未来基金等)	3,000万円	設備投資 (多目的ホール、トイレ、シャワー室、農産加工所、フリースクール)	3,000万円
企業協賛金	500万円 (50万×10社)		
地域支援金	1,000万円 (1万×1,000名)	プレイパーク遊具	500万円
		環境整備	1,000万円
収入合計	4,500万円	支出合計	4,500万円

本プロジェクトの事業採算性

1～3年間の収支（検討案） ※4年目以降は入園料収入を基盤に運営

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
講座（1泊2日 年間10回開催）	640万円 (8万×20名×4講座)	講座運営費（講師謝礼,車代等）	350万円
マルシェ	15万円	人件費	275万円
農作物販売	20万円	HP制作費、広報費など	50万円
LLP組合加入費	100万	地代 種代 雑費など	50万円
収入合計	775万円	支出合計	725万円

※スタッフ採用は、地域興し協力隊の制度を活用し、人件費を抑える想定

企業協賛 例

パタゴニア

(環境問題への取組み
最先端企業)



出典:パタゴニアHP

・服の原料コットンや、
ビールの原料小麦を
環境再生型農業で栽培。



「ビールを飲んで温暖化を救おう!!」

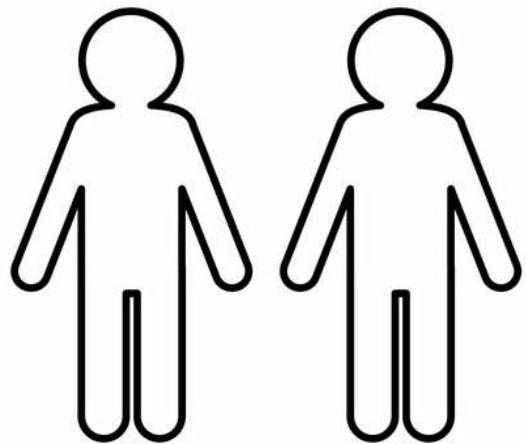
⇒畑作りを通じて、
気候変動に取り組んでいる



畑に落ちたカ
機を回らせば
(ランド・インス
ト)創設者のウ
クソン。従来の
長さ3フィート
子)とは異なり
、長さで12フィ
メートル)にま
ひびのような
は、貴重な表土

出典:パタゴニアPROVISIONS2020

地域支援金 イメージ



支援金1口1万円
+労働提供



無料で入園&
野菜の収穫可能

このプロジェクトを支援してくれた支援者や池田町民には、開園後、無料で入園&野菜の収穫を可能にして、地域に還元

事業主体

〈トータルコーディネーター〉
臼井 健二・朋子

〈アドバイザー〉

北條裕子 カミツレ研究所 SouGo 代表取締役社長
吉田太郎 有機農業とキューバの農業や医療に精通のジャーナリスト
和久井道夫 世界で活躍する長野県のガーデンデザイナー
設樂清和 パーマカルチャーセンタージャパン
ソーヤ海 平和道場 自称共生革命家 パーマカルチャーの若きリーダー
梅崎靖志 風と土の自然学校 新潟柏崎夢の森をプロデュース
竹内孝功 自然菜園コンサルタント 自給自足Life代表
古田睦美 長野大学環境ツーリズム学科 教授 予定

中心となって推進するメンバー
募集中!!

どんな形の応援・協力も
大歓迎です！



One Earth One Love

ぜひいっしょにやりませんか!?

持続可能な幸せな暮らし



提案者:

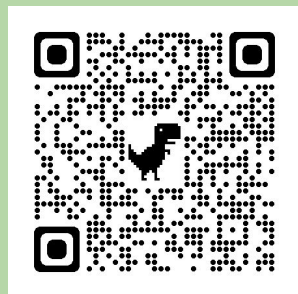
399-8602

長野県北安曇郡池田町会染552-1 シャンティク
ティ <http://www.ultraman.gr.jp/shantikuthi/>

LLP 社口原農業組合(設立予定)臼井健二・朋子

TEL&FAX 0261-62-0638

E-mail : shalomusui * gmail.com * →@



紙媒体でなくネットで見ることができます

<https://note.com/kenjiusui/n/n2b6c22000f9d>

参考動画

キスザグラウンド **大地が救う地球の未来** 予告編

<https://youtu.be/nRlSe42nw6w>

ビックリトルファーム 理想の暮らしの作り方 予告編

https://youtu.be/KP1d_kYFY0M

シャンティクティ 安曇野で素朴なパーマカルチャーの生活をして40年
幸福の秘訣とは？地球にやさしい暮らし方のヒント(10分)

<https://www.youtube.com/watch?v=ce5gQov-UIU&t=8s>

パーマカルチャー 楽しみながら地球を救うヒーロー達の物語 予告編

<https://www.youtube.com/watch?v=V0nbbzABoNM>

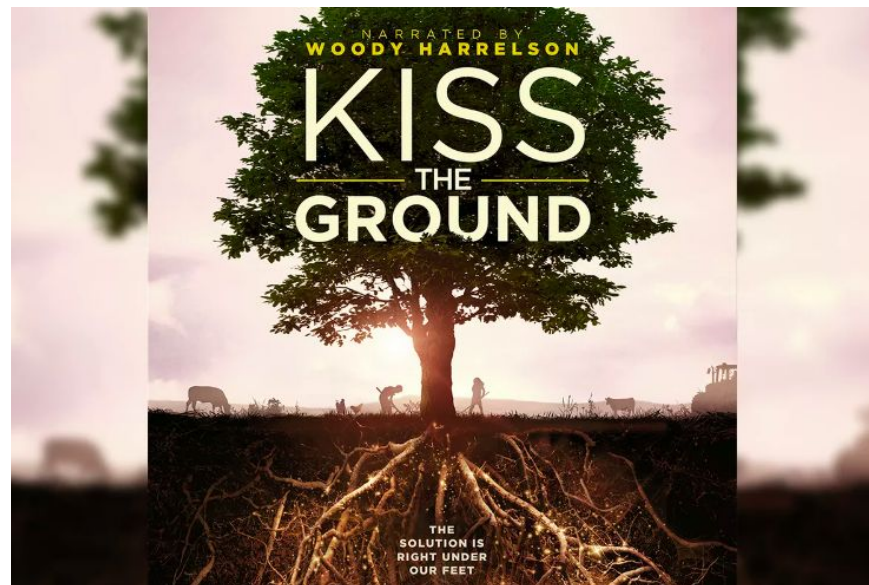
世界が評価する持続可能なモデルは足元にあった (29分)

<https://note.com/kenjiusui/n/n0c1fe6803e96>



<https://vimeo.com/812732284>

この映画はパーマカルチャーの”希望の世界観”を広めたいと、コロナ禍に一才の息子を連れた撮影の旅で訪れた日本各地とアメリカ西海岸で、楽しみながら地球を救うヒーロー達の物語。



「キス・ザ・グラウンド 大地が救う地球の未来」

気候変動 環境問題 不耕栽培 不耕起 不耕起栽培

不耕起農法 バイオセクエストレーション

無農薬 有機 自然農法

予告編

<https://youtu.be/nRlSe42nw6w>

シヤンティクティの暮らし



<https://youtu.be/ce5gQov-UIU>



patagonia
PROVISIONS

ショップ プロビジョンズについて コミュニティ

リジェネラティブ・オーガニックとは？

持続可能な農法のさらに先をいくリジェネラティブ・オーガニック農法は、地球と私たちを含む地球上のすべての生物の健全性を着実に改善します。

なぜ、リジェネラティブ・オーガニックなのか？

パタゴニアプロビジョンズ (未来への準備)

<https://www.patagoniaprovisions.jp/pages/regenerative-organic-agriculture>

今までの経過

<http://www.ultraman.gr.jp/shantikuthi/syagutihara.htm>